

学校教育目標

「夢や願い」を叶える 福田小学校 ～福田の子 みんなで育て みんなで育つ

夢や願いを叶えるための活動
夢広場の設定

毎年児童の夢や願いを書いたカードを全校分掲示する。

学期ごとのめあてと振り返り

同じ項目について学期ごとのめあてを立てる。立てためあてに対する振り返りを適宜行う。

ゲストティーチャーの招聘・活用

総合的な学習の授業に、それぞれの分野の専門家を呼び、講話を聴いたり、体験活動を通して学んだりする。

校内研究の充実

研究主題「夢の実現に向け、生き生きと学ぶ子どもの育成」

～主体的・対話的で深い学びの実現を目指した国語科の授業づくり～

◇ 授業改善

- ① 言葉に着目した指導を行う。
- ② 効果的な対話を設定する。

全校で取り組む学力向上

◇ 語彙力を高める取組

国語だけではなく、様々な教科で、辞書引きを実施する。

◇ ぐんぐんタイム、家庭での学習の充実

- ① 実践的な問題に取り組む。
- ② Qubena の活用
- ③ 学力の土台作り

家庭との連携

福田っ子スタンダード

- ・学習に臨む心構え（学習態度、準備物等）
- ・家庭学習について

地域との連携

福田サポーターの活用

- ・得意な分野での児童の活動支援

【児童の実態】

- 学習意欲がある。
- 授業中の対話活動を好む。対話の中で、自分の考えと他者の考えとの相違点を見つけ、自分の考えの幅を広げようとする児童が増えてきている。
- △ 語彙力が不足している。
- △ 書く力が不足している。
- △ 文章や図、表などの情報を読み解いたり、結び付けて考えたりする力が不足している。

【学力調査から】

- おおむね、半数以上の児童が、市平均または県平均を上回っている。
- △ 国語科に比べ、算数科の平均値が低い。
- △ 国語科では、資料や文章から必要なことを読み取り、条件に合わせて書く力が不足している。
- △ 算数科では、既習事項を活用して問題を問いたり、言葉や式、図を使って、考え方を説明したりする力が不足している。
- △ 問題の情報量が多くなると、正答率が低くなる傾向にある。